



引越し



相談

引越し業者に壊された高級食器の賠償は？

インターネットの比較サイトで見つけた引越し業者にインターネットで見積もりを依頼後、電話で引越しを依頼した。その後見積書と標準引越し運送約款と書かれた書類を受け取った。引越し終了後に代金10万円を振り込んだ。引越しの2カ月後にアンティークのティーカップ6客セットを箱から出したらソーサー(受け皿)が1枚割れていた。引越し業者に連絡しセットの弁償を求めたが、1客(ティーカップとソーサーのセット)の時価※での代金の賠償だという。セットの食器なので全額賠償してほしい。

※時価・・・その時点での価格

ポイント

通常一般家庭の引越しでは『標準引越し運送約款』が適用され、壊れた品物の補償はその約款に基づき補償されることとなります。ただし、業者側が独自の約款を定めて国土交通省に届け出て認可を受けた場合は、その独自の約款が適用されます。見積もりの際に提示された約款で解約料や賠償内容を確認する必要があります。



助言

- 1 壊れた商品は証拠品となるため、写真を撮り、保管しておくようにしましょう。
- 2 賠償は約款に基づき対応されます。このケースでは「標準引越し運送約款」が渡されており、その約款にのっとり賠償を求めることができます。
 - ①壊れやすい高級食器であることを申告し、引越し業者がその事実を了解の上で引き受けたものであれば、荷物の引き渡しから3カ月以内に業者に通知します。(紛失に気づいた場合も同様に荷物を引き渡した日から3カ月以内に業者へ連絡を)
 - ②修理できるものであれば修理、修理できない物であれば同等品との交換、交換できない物であれば購入時の価格ではなく時価がその賠償額となります。
 - ③1つが破損したためセットとして使用できない物については、一般的にはセット全体について賠償されます。※賠償された場合には、所有しているセットを業者に引き渡します。
- 3 別途保険をかけていた場合には、直接保険会社に連絡をして保険金の請求をします。この場合、引越し業者から賠償を受けることはできません。

参考

・「標準引越し運送約款」(平成30年6月1日改正)は全日本トラック協会のホームページに記載

食品ロスを減らすためにできることはなんだろう？

身近なところから 食品ロス・生ごみ削減！

まだ食べられるのに廃棄される食品のことを「食品ロス」といいます。食品ロスの減少は、世界の食糧問題の解決につながるのはもちろん、家計の支出も抑えられ、いいことづくめです。誰にでもできる簡単なことばかりなので、ぜひ楽しみながら取り組んでください。

食べ物を 「買い過ぎない」

買い物に行く前に冷蔵庫をチェックするなどして、必要なものを必要な分だけ買うよう心がけましょう。



上手な保存方法を知り 「使いきろう食べきろう」

冷蔵庫・冷凍庫を整理し、小分けに冷凍するなどかしく利用しましょう！



外食ではおいしく食べきれる量を 「注文しよう」

自分の食事の適正量を知り食べきれると思う量を注文しましょう。例 3010運動(宴会では乾杯後30分～お開き10分前に食べきりタイムを設けて食べ残しを減らす取り組み)



燃やせるごみのうち、生ごみは、水分が重量比で約半分を占めていると言われています。生ごみはごみ袋に入れる前にひと絞り！

生ごみは、しっかり絞って「水切り」しよう！



食品ロス削減についてもっと知りたいときは

○環境省 食品ロスポータルサイト <http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>

美馬地区消費生活センター

電話
来所

で消費者の契約トラブルなどの相談を受けます

電話： 0883-53-1541

相談：日～金 9:00～16:00 (土・祝 休み)

住所：美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1
美馬市地域交流センター1階



「相談のハコ」が
消費生活センターです

